

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 4084
20年8月28日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

“さらなる働きやすさと環境への配慮” でヤマト運輸が制服刷新 日本郵便制服刷新の時はどうだった？

おはようございます。

8月21日、ヤマトホールディングス（ヤマト運輸）が20年ぶりのデザイン変更となる新制服を発表しました。

9月16日からドライバーと窓口受付スタッフが着用する新制服のコンセプトは“さらなる働きやすさと環境への配慮”で、従来よりも伸縮性を大幅に向上させ、業務に必要な強度と耐久性も備えている。また安全性向上のため、高輝度の反射材をアウターやブルゾン、ベルト、シューズに使用したほか、シューズのインソールも改良し、衝撃吸収性もアップした。防寒着、ブルゾンの撥水性も向上。スプレーを使った「はっ水性試験」では最高の5級評価を受けた。防寒着は中綿の量を調整した3種類から地

域毎に選定可能。前開きのフアスナー部分に被さる布を二重にして防寒性を向上した。

デザインは、「ホワイトマウンテナアリング」デザイナーの相澤 陽介氏。発表会では、従業員から

「従来の制服よりも格段に伸縮性が高い。作業がしやすくなるのでとても助かる」などの感想が寄せられたと紹介されています。



ヤマト運輸の新しい制服、良さそうですね。「従来の制服よりも格段に伸縮性が高いのに、強度と耐久性を備えている」、防寒着、ブルゾンの撥水性も向上。「はっ水性試験」では最高の評価を受けた、これを聞いただけでも日本郵便の制服と変えてくれないかと思うくらいです。

ヤマト運輸はシューズも会社支給なのでですね。郵便局も、昔々郵政省の頃は靴が支給されていた。長崎など坂の町で

歩行距離の長い局では、シューズの劣化頻度が早く自己負担もばかになりません。衝撃吸収性の高いシューズだと疲労度が違いますが高額で躊躇します。

私たち郵便局の通配区担当者ほど、ヤマト運輸の社員が歩くとは思いませんが、それでも社員の健康と労災防止の観点から衝撃吸収性の高いシューズを支給するのですね。「社員を大事にする精神」、日本郵便にも見習ってほしいものです。

また今回の制服は環境への配慮も行い、素材には植物由来PETを採用しています。植物由来PETは、さとうきび廃糖蜜（砂糖をつくる工程の副産物）で、素材の約30パーセントが植物由来のとなります。今回の変更では一般的な素材を使用した場合より、東京ドーム約24個分のブナの天然林が1年間に吸収・蓄積するCO2量削減に相当するそうです。

日本郵便の制服変更は2017年4月でした。郵政民営化以来、10年ぶりの変更でした。その時紹介された記事は、

吸汗性などの機能面も向上。また中国から東南アジア各国に生産を移したため、1着あたりの価格は今の約1700円から約970円に下がった、というものでした。制服調達コストを下げるのは企業努力という事でしょうが、毎日使用する制服をケチってもらいたくはありません。

「さらなる働きやすさと環境への配慮」をコンセプトに、企業イメージ向上をアピール。好評価を受けたヤマト運輸の制服変更とは違うと思いませんか？

ちなみに現在のポロシヤツは、生地が薄く透ける、UV効果がなく肩や背中が焼けると不評です。その為、余分にシャツを着込むことになり、暑く疲労が増します。



ユニオンは素材の変更を求めて要求を続けていますが改善されません。トップを指せとは言いません。二番煎じでかまいません。他社の良い所

を見習って、労働環境の改善を行ってほしいと思います。



皆さんはカップ麺の賞味期限を知っていますか。カップ麺は保存食の代名詞でもあります。多くの場合、賞味期限はカップ麺が6か月、インスタントの袋麺が8か月となっています。意外と短いと思うのは私だけでしょうか？

さて先週、長崎中央局で4月から7月期の特約の報奨が行われました。これら局の報奨で貰ったカップ麺の賞味期限は短いことが多いです。今回も一か月以内のものも多くありました。「社員の間では期限間近の非常食を放出した」「期限間近のものをバーゲンで買ったのでは」などの意見も聞かれます。理由はあるのでしょうか。せつかくの報奨商品です。モチベーションの下がらないものにしてほしいものです。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を主眼の正社員化を。

せつかく、均等待遇、なせつ差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利した！